

〔尾張西三河森林計画区〕

1 計画区の概要

(1) 位置等

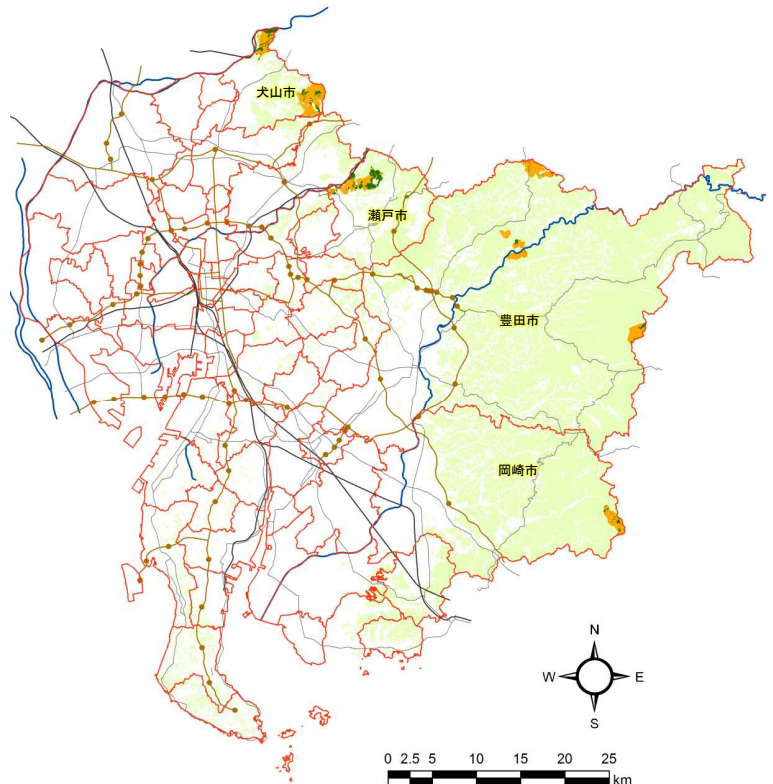
本計画区の国有林野は3,272haで、愛知県の西部及び中部に位置しています。

(2) 森林の構成と特徴

矢作川、庄内川、木曾川の愛知県内上流部に点在しており、多くを占める都市近郊の国有林野は、国定公園、県立自然公園へ指定され、保健休養の場として多くの人々に利用されています。

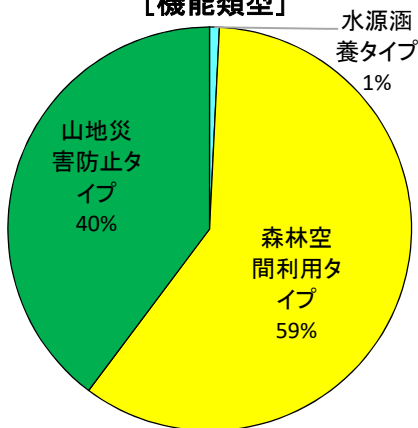
森林の現況は、面積割合で人工林74%、天然林19%、その他(立木地以外)7%です。人工林は11～12齢級及び19～21齢級が全面積の5割あり、ヒノキ47%、アカマツ16%、スギ9%とヒノキが多く占めています。

〔国有林の分布〕

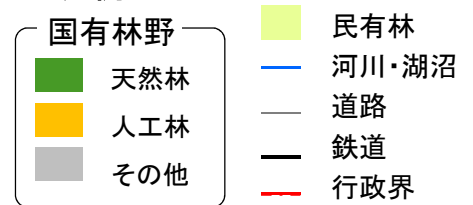


(3) 国有林野の現況面積比

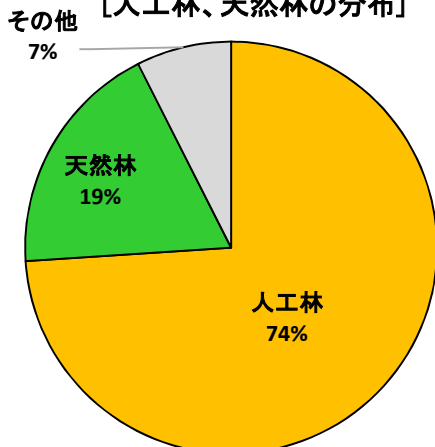
〔機能類型〕



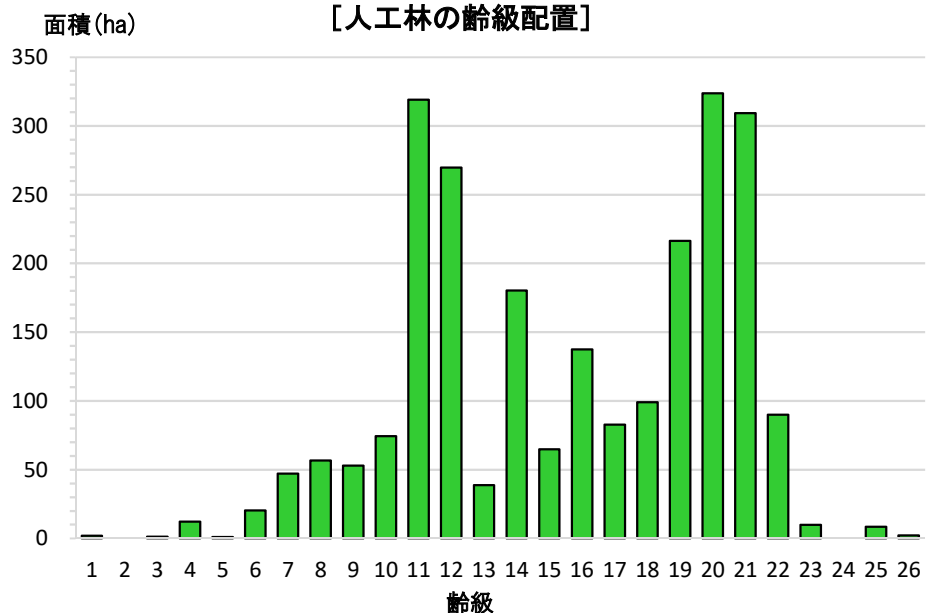
凡例



〔人工林、天然林の分布〕



〔人工林の齢級配置〕



2 主要事業と主な取組

- ・本計画区は、森林空間利用タイプが59%を占め、保健・文化・教育等への利用が期待されていることから、山岳や渓谷等と一体となった優れた自然美を構成する森林等の維持・造成に努めます。
- ・山地災害防止タイプが40%を占め、土砂の流出・崩壊の防備など国土保全の役割が期待されることから、間伐等の森林整備事業及び治山事業を適切に実施します。
- ・生物多様性の保全機能を発揮するため、貴重な森林生態系等の保護・管理に取り組みます。
- ・水源涵養機能、山地災害防止機能などの森林の持つ公益的機能の維持増進との均衡を図りながら木材の供給を図ります。

(1) 主要事業の実施(5力年分の計画量)

- 健全な森林を育成し、公益的機能の維持増進を図るため、間伐等を計画します。

伐採	新計画	現計画	増減
主伐 (内臨時伐)	2,644 m ³ (2,644 m ³)	11,197 m ³ (4,616 m ³)	-8,553 m ³
間伐	23,356 m ³	7,303 m ³	16,053 m ³
計	26,000 m ³	18,500 m ³	7,500 m ³

注：臨時伐採とは、事業実行上の支障木等で、計画時点の箇所付けができないもの。

伐採	新計画	現計画	増減
主伐面積	— ha	17.20 ha	-17.20 ha
間伐面積	185.52 ha	77.62 ha	107.90 ha

更新	新計画	現計画	増減
人工造林	12.12 ha	14.33 ha	-2.21 ha
天然更新	— ha	— ha	— ha
計	12.12 ha	14.33 ha	-2.21 ha

保育	新計画	現計画	増減
下刈	66.20 ha	30.92 ha	35.28 ha
つる切	— ha	— ha	— ha
除伐	10.75 ha	7.22 ha	3.53 ha
枝打	— ha	— ha	— ha

- 効率的な森林施業、森林の適正な管理の基盤である路網を整備するため、林道の開設や改良を計画します。
- 災害に強く安全で安心な国土づくりのため、保全施設の設置や保安林の整備を行います。
- 原始的な森林生態系等からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存など貴重な自然環境の保全・管理を推進します。

林道	新計画	現計画
開設	1,600 m【 2 】	3,880 m【 4 】
改良	50 m【 6 】	1,540 m【 27 】

注：【 】は箇所数。

治山	新計画	現計画
保全施設	5箇所	6箇所
保安林整備	98.24 ha	7.22 ha

注：保全施設の箇所数は「単位流域」の数。



(森林空間利用 タイプ八曾の滝)



(森林空間タイプ 犬山・八曾自然休養林)
(黒平山より眺望)

(2) 国有林野の維持・保存

○ 貴重な森林の保存

都市近郊に位置し、保健休養の場としての森林等が多く、特に入林者が多い春季は乾燥期と重なり山火事発生危険性が増大するため、地元市町村等と連携を密にして山火事防止の啓発活動及び巡視を行います。

○ 森林病虫害と獣害対策

カシノナガキクイムシなどの森林病虫害による被害の早期発見に努め、民有林と協調しつつ必要な対策に取り組みます。

また、獣害対策として、ニホンジカなどから幼齢木等を守るため、防護柵の設置や忌避剤の塗布等必要な対策に取り組みます。



(カシノナガキクイムシ被害)



(ニホンジカ)

○ けいほん 溪畔周辺の取扱い

溪畔周辺は、野生生物の生息・生育場所、移動経路、種子などの供給源等として、生物多様性の保全上重要な役割を担っているため、本来成立すべき植生による上流から下流までの連続性を確保すること等により、きめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めます。

(3) 林産物の供給

- 国有林材の供給等を通じて木材の安定的・効率的な供給体制の構築に寄与するよう努めます。

- 路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト作業システムの定着を図り、素材（丸太）販売に取り組みます。また、これまで林内に放置され利用が低位であった末木枝条等の有効利用も考慮しつつ、木材の供給に努めます。

- 合板や集成材等の原料としての利用拡大や、土木分野における木材の利用範囲の拡大を推進します。



(プロセッサによる枝払・造材作業)

(4) 国有林野の活用

名古屋圏に隣接した都市近郊林が多く所在しており、自然探勝や野外スポーツの場として多くの人々に利用されていること等から、国民の保健、文化、教育的利用に供することが適当と認められる国有林については、「レクリエーションの森」に設定しています。



くらがり
間苅溪谷(間苅風致探勝林)

レクリエーションの森の設定状況

種 類	箇所	面積(ha)
自然観察教育林	2	526
風景林	2	626
風致探勝林	3	794
計	7	1,946

(5) 公益的機能維持増進協定

国有林に隣接・介在する民有林野のうち、森林所有者等による施業が行われず公益的機能確保への支障が懸念される森林については、公益的機能維持増進協定制度の活用により、森林所有者等と協定を締結し、国有林と民有林の一体的な整備・保全に努めます。

(6) 国民の参加による森林の整備

森林ボランティア団体による森林づくり活動、企業のCSR活動、学校が行う林業体験や森林教室等の森林環境教育に対し、フィールドの提供に取り組みます。

本計画区では、5箇所を活動のフィールドとして設定しています。

フィールドの提供状況

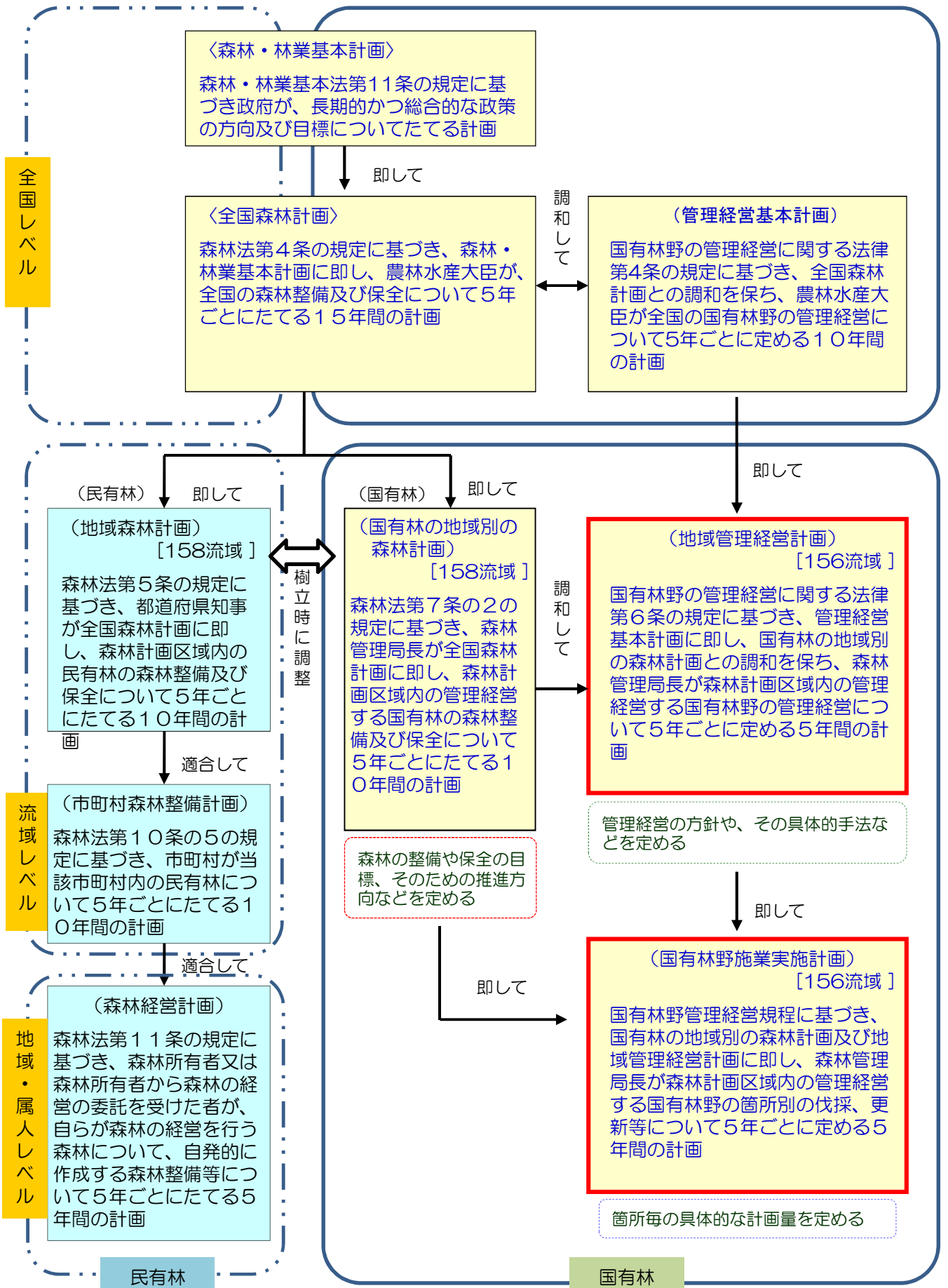
種 類	箇所	面積(ha)	設定箇所
ふれあいの森	2	60.43	八曾国有林(犬山市) 瀬戸国有林(瀬戸市)
社会貢献の森	1	0.56	瀬戸国有林(瀬戸市)
遊々の森	2	38.39	八曾国有林(犬山市) 瀬戸国有林(瀬戸市)

(7) 森林・林業再生に向けた貢献

地域における施業集約化の取組を推進するため、森林共同施業団地の設定による民有林野と連結した路網の整備等と相互利用の推進、計画的な間伐や現地検討会等を通じた森林・林業技術の普及に取り組みます。

また、民有林の森林経営管理制度が円滑に機能するよう、技術支援などに取り組みます。

国有林の計画制度の体系



<参考>

○ 機能類型と管理経営の考え方

個々の国有林野を第一に発揮すべき機能によって5つのタイプに区分し、それぞれの機能の発揮を目的とした管理経営を行います。

山地災害防止タイプ

- ① 主に土砂の流出・崩壊の防備等山地災害防止機能の発揮を第一とする森林
〔土砂流出・崩壊防備エリア〕
- ・ 針広混交林になっている森林は現状を維持
 - ・ 天然力の活用により更新が可能な場合は育成複層林又は天然生林へ導くための施業を実施
 - ・ 人工林は、択伐、間伐等により針広混交林への誘導に努力
- ② 風害・濃霧等の気象害による居住、産業活動に係る環境の悪化の防備を第一とする森林
〔気象害防備エリア〕
- ・ 人工林は育成単層林又は育成複層林に導くための施業
 - ・ 天然林は育成複層林又は天然生林に導くための施業

自然維持タイプ

- 原始的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林
- ・ 原則として現況の森林を維持することを目的とした天然生林に導くための施業（自然の推移に委ねる管理）
 - ・ 原始的な森林生態系を有する森林を保護林として管理

森林空間利用タイプ

- 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林
- ・ 天然林は天然生林へ導くための施業
 - ・ 人工林は育成複層林へ導くための施業、間伐等による針広混交林化を推進
 - ・ 自然観察等に適した森林の造成や修景伐などを推進
 - ・ レクリエーションの森は広く国民に開かれた利用の場として提供

快適環境形成タイプ

- 快適な環境の形成の機能の発揮を第一とする森林
- ・ 騒音又は大気浄化に有効な森林の幅を維持するため、原則として育成複層林へ導くための施業

水源涵養タイプ

- 水源のかん養の機能の発揮を第一とする森林
- ・ 人工林は伐期を長期化し、伐採を行う場合は伐採箇所のモザイク的配置に留意しつつ小面積分散型の施業
 - ・ 水源の保全等に必要な森林は育成複層林へ導くための施業。周囲の母樹の生育状況から天然更新が見込める場合は択伐等により積極的に広葉樹等を導入
 - ・ 天然林は育成複層林又は天然生林へ導くための施業

※ 木材生産機能

- ・ 林相の維持・改良など公益的機能の維持・発揮のために必要な施業の結果で、伐採・搬出される木材の有効利用、機能発揮に支障を及ぼさない範囲で齢級構成の平準化や地域ニーズ等に応じて伐採を計画的に行うことにより木材を供給